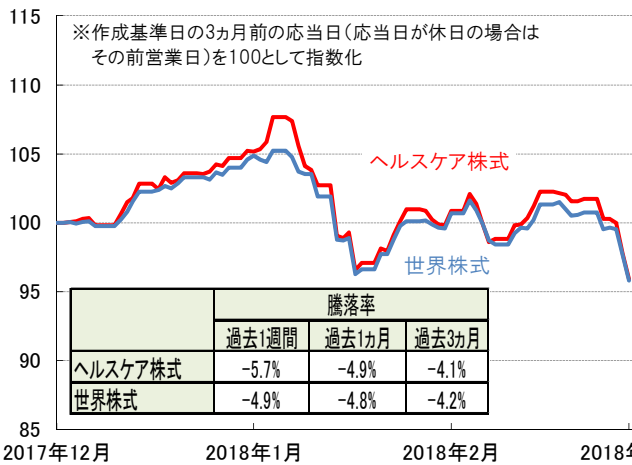


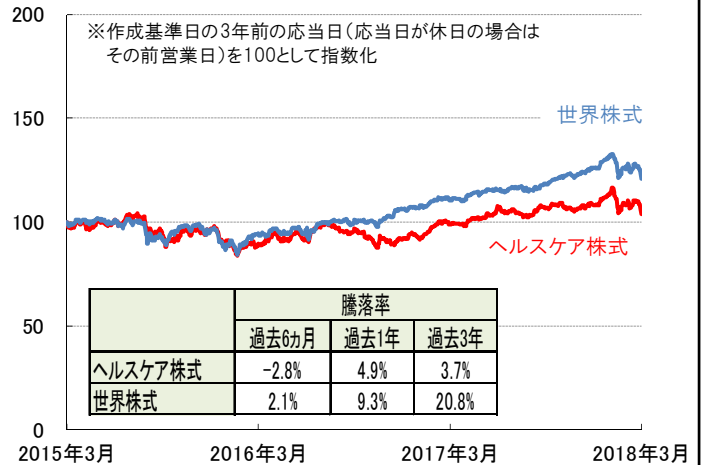
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率	ワールド	ヘルスケア	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益	
フィッシャー&バイケル・ヘルスケア	2.7%	1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想	16.3	19.8	31.9	13.9	12.7	15.8	13.0	17.0	19.7	18.9	8.2
アステラス製薬	1.3%												
ConvaTec Group PLC	0.6%												
ライマン・ヘルスケア	0.6%	今期予想PER(倍)	15.5	15.8	17.1	14.4	16.3	16.0	17.6	12.1	18.4	11.7	14.7
小野薬品工業	0.5%	3期先予想PER(倍)	13.0	13.2	13.6	12.8	13.7	13.4	14.9	10.2	14.9	10.4	13.5

(出所)Bloomberg

*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

■マーケット・コメント

先週(2018/3/19~2018/3/23)は、世界株式、ヘルスケア株式は共に下落しました。

- ・世界株式は、米国が中国に対し輸入関税をかけると発表したことを受け、中国も米国に対し報復関税をかけると発表するなど、米中貿易戦争への懸念が高まったことや、米フェイスブックによる個人情報漏洩問題などから下落しました。セクター別では、情報技術など全てのセクターが下落しました。
- ・ヘルスケア株式についても、世界株式と同様に下落しました。セクター別では、バイオテクノロジーなど全てのセクターが下落しました。個別銘柄では、肺がん治療薬の承認を急がないと発表した米バイオ医薬品会社のアヅヴィが下落しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック「中国が医薬品の輸入関税を引き下げる方針」

中国の李克強首相は20日の全国人民代表大会(全人代)の閉幕に合わせて開かれた会見で、医薬品の大幅な関税引き下げと、特に中国国民が必要としているがん治療薬については関税ゼロの実現に向けて取り組む方針を表明しました。また、外資参入条件についても緩和する方針を示しました。米国に次ぐ市場規模を持つ中国への販売拡大などが期待できることから、グローバルに展開する製薬企業やヘルスケア関連企業にとって追い風となるとみられています。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」ヘルスケア株式：MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、世界株式：MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。
 「ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。
 「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍)：株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想：作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。
 ※3期先予想PER(倍)：現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

●MSCI ワールド・インデックス及びその業種別・インデックス(出所：MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。